

国語科 授業実践報告

単元名 登場人物の変化を読み、
自分の考えをまとめよう
教材名 「きつねの窓」

令和4年12月15日（木）第5校時
授業実践 第6学年2組

《本時の目標》

本文から読み取ったことをもとに、「窓」の役割について表現することができる。

【思考・判断・表現】

深い学びポイント

1 つかむ	2 見通す	3 自力	4 協働	5 練り上げ	6 メタ認知
<p>《授業展開の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「窓」の役割、自分が見る窓についてわかりやすいように工夫されたパンフレットを用いる。 ・ムーブノートのチャート機能を使用し、「窓」の役割に対する自分の意見をまとめる。 <p style="text-align: right;">ことで、</p>					
<p>《児童の変容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取った窓の役割をパンフレットに記述し、自らの考えを具体的に表す。 ・タブレット上で友達の意見や考え方に触れ、自分が良いと思う考え方を見つける。 <p style="text-align: right;">姿がみられ、「深い学び」が実現されるであろう。</p>					

深い学びに到達させる手立て①

パワーポイントで共同編集することで、短時間で友達と考えを共有したり、効果的に話し合いをしたりできるようにする。



② 自力解決



① 話し合い活動

物語に登場する「窓」は、どのようなものを見せてくれるのだろうか？ 思い浮かばないなあ。友達の考えを参考にしてみようかな。なるほど！ そういうことを書けばいいのか！

- ・「今は見えないもの」じゃない？
- ・「大切」っていう言葉も良いと思うけど。
- ・「記憶」と「思い出」ならどっちの方が良いのかな？
- ・私たちの「結論」どうする？

5 結論：大切だと思う場所・人・出来事

小松	自分が一番心に残ってることや人	大切に思い出に残ってるもの
斉藤	大切な人や場所	忘れられない出来事
横倉	自分が思う印象に残ったこと	大切なもの
山崎	大切だと思うこと	自分の懐かしい場所

7 結論：記憶の中にある、今はもう見ることのできない人や物

加々美	今はない思い出
原田	今一番大切に思っているもの
中村颯馬	今はもうないものや、自分の印象に残っている記憶など
小林	今はない、大切な思い出

私たちの考えと5班の考え、結構似ているね。7班は全然違うね。そういう考え方もあるのか。

深い学びに到達させる手立て②

本時の話し合いを通して改めて考えたことをまとめる時間
をとることで、自分の考えを再構築できるようにする。

本授業では、考えの再構築に重きをおいて授業づくりを行った。初めに一つの問いについて考え、学習の最後でもう一度同じ内容について考えさせることで学びが深まったことが実感できると考えた。そこで、はじめの考える時間と、最後の再構築の時間を十分に確保することにした。

その結果、初めは「なんとなく」答えていた児童も学習の最後には言葉にこだわりをもって自分の考えを表現できるようになった。

なんとなく、「思い出」と思ったけれど教科書p125に書いてあったから、やっぱり「思い出」がキーワードだと思った。

初めは「大切なもの」としか思ってなかったけど、みんなの考えを聞いてみて「今はない」というのもキーワードかな。

深い学びに到達した姿

共同編集ができるパワーポイントのよさを生かし、①一人で考える際には友達の考えを参考にしつつ自分の考えをもつことができた。②話し合いの場面ではそれぞれの考えが反映されたスライドをもとに話すことで、自分の意見と友達の意見を比べながら「窓の役割」について考える姿が見られた。③話し合いを通して改めて考えたことをまとめることで、言葉にこだわりをもって窓の役割を表現する姿が見られた。

指導講評

指導1課主任指導主事 江原 瑞貴 先生

○明確な言語活動が設定されていた。

物語を探求したくなるような、とっておきたくなるようなパンフレットになっていたことがよい。

○共同編集の機能を活用したことによって、グループの話し合い活動で活発な議論につながった。

●今回の授業では「考えの形成」と「共有・広げる」が混在していた。

自分の考えをまとめることをメインの活動にするのであれば、これまでの授業の中で精査解釈してきたことを生かせるとよい。

●児童に問いかける際に「何を見せてくれる窓?」「窓とは何を見せてくれる窓?」「窓の役割」という言葉を使っており、ずれが生じていた。見せてくれるもの(「大切なもの」「思い出」)を書いている子もいれば、「役割」そのもの(「自分を支えてくれるもの」)を書いている子もいた。

「～の役割」と答えられるような問い方にとよい。

◎魅力ある言語活動の設定により、児童の学習意欲の向上につながった。

◎各グループの「結論」を比較検討することで、児童が本文を根拠に考えることができた。

△初めに考えたことと練り上げを通して考えたことと変容がない児童がたくさんいたため

一人でじっくり考える時間を十分に確保する。

練り上げの際には考えの根拠を叙述から探す。

教師が少数派の考えを取り上げることで多様な考えを広げる。

などの工夫が必要である。